

「損保ジャパン日本興亜笑顔届け隊！」が岩手県釜石市で人形劇を公演

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：二宮雅也、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、NPO愛知人形劇センターと連携して、8月22日（金）、岩手県釜石市にて人形劇公演を実施し、子どもたちや保護者の皆さまを中心に約60人にご来場いただきました。

当日は、『ケロロだジャンプ/こいぬとこねこはゆかいななかま』の人形劇公演とパントマイムを披露したほか、来場された方々に全国の社員ボランティアが作成した手作りプレゼントやメッセージカードをお渡ししました。

【公演日】 2014年8月22日（金）

【場 所】 「釜石市立鶴住居幼稚園」（岩手県釜石市鶴住居町）
「甲子子育て支援センター」（岩手県釜石市甲子町）

【開催経緯】

損保ジャパン日本興亜は、愛知県名古屋市に人形劇場「ひまわりホール」を所有しており、劇場の運営団体であるNPO愛知人形劇センターとともに地域貢献活動に取り組んでいます。

東日本大震災の発生を受け、損保ジャパン日本興亜とNPO愛知人形劇センターは「損保ジャパン日本興亜笑顔届け隊！」を結成し、2012年3月から釜石市にて、仮設住宅に居住されている方々向けに人形劇を実施しており、今回の公演は6回目の開催となります。

人形劇公演が地域の皆さまが集まるきっかけとなり、また、会場いっぱい子どもたちの笑い声が広がればとの思いから、今年8月にも「あ・ぶ・ぶ人形劇場^{※1}」、パントマイムのパフォーマーである橋本フサヨ氏^{※2}と連携し、釜石市で人形劇の公演を行いました。

※1 あ・ぶ・ぶ人形劇場：1999年から首都圏を中心に幼稚園、保育園、子ども劇場、子育て支援センターなどで幼児向け一人芝居を行っている。

※2 橋本フサヨ氏：1983年に府中マイムシアターにて清水きよし氏に師事し、パントマイムを始める。その後ソロ活動を開始。定期公演や野外活動を行っている。

【活動内容】

公演当日は、子どもたちや保護者の皆さまを中心に約60人の方にご来場いただき、人形劇とパントマイムを楽しんでいただきました。

保護者や関係者の皆さまからは、「なかなか観られない人形劇を近くで見ることができ、子どもたちにとって、とても良い経験になったと思う。」「子どもたちが声をだして笑っていて、とても良かった。子どもだけでなく大人も楽しませてもらった。」などの感想をいただきました。

また、全国の社員ボランティアが作成した手作りのプレゼント（室内等で遊べるフェルト布ボール）やメッセージカードもお渡ししました。

なお、本活動は公益社団法人 企業メセナ協議会が主催する「This is MECENAT 2014」[※]に認定されています。

※This is MECENAT 2014：公益社団法人 企業メセナ協議会が企業などの民間組織が取り組むメセナ（芸術・文化振興による社会創造）活動を認定する新たな制度で、多様化するメセナを可視化し広く社会に周知することを目的としています。

【社員ボランティアによる手作りプレゼントとメッセージカード】



【釜石市立鶴住居幼稚園での公演の様子】



以 上